

Magazine of Teikyo  
Alternative Life [フレア]

# Floair



自分、プロデュース計画。



最近、なにしてる？

photograph: KAZUHARU IGARASHI text: KENTARO MATSUI



企業見学や海外留学。普段は出会えない人とかかわる経験を。

私のキャンパスアイテム



大学受験のときに母親から「頑張れ！」と贈られたペンケース、留学先でインドネシアの友だちから別れ際にもらった影絵のしおりとキーホルダー、「TOEICで600点以上取るのが目標」と日々聞いている英単語のテキスト、「作曲している最中です」と言うギターの教則本など、八木澤さんの「いま」が詰まっている。

理工学部 機械・精密システム工学科4年 | KAZUKI YAGISAWA | 八木澤和稀さん

インドネシアへの短期留学から戻ってきたばかりの、理工学部機械精密システム工学科4年、八木澤和稀さん。「濃密で、刺激的な3週間でした。材料の特性を調べる実験を見学したり、学生との交流を楽しんだり。視野が広がりました」。帰国後、始めたのは英語。「必要性を痛感して、車のサスペンションシステム製造会社に就職が決まりましたが、内定式でも英語の試験がありました」とまずは単語の習得から。将来を見据えて勉強に励む八木澤さん。いまの自分を支える言葉は、「洞察力」だ。「与えられた仕事の意味を見出し、仕事を広げていきたい」。新たに帝京大学に入学する後輩へ向けて、「人とかかわる力も大切。企業見学や海外留学などチャンスがあれば経験してほしい。キャンパスで出会えない人とどれくらいかわるかで、世界を見る目に差が生まれますから」とメッセージを送った。

03 | Entertainment



共感の連鎖を生んだ新しい才能の“発見”。

記録的な大ヒットとなった『君の名は。』。この映画が多くの人々を魅了した要素は、たくさんあります。

美しい映像、多重構造のストーリー、情感を盛り上げるRADWIMPSの主題歌、親近感のあるキャラクター……。しかし、この映画をここまでの大ヒット作に押し上げた最大の要因は、新海誠という監督の才能を、観客たちが“発見”したからではないでしょうか。

これまで新海監督の作品は、小規模のマーケットで劇場公開されており、その存在も“知る人ぞ知る”レベルでした。それが今回は全国公開。初めて新海監督作品に接する観客たちは、これまで見たこともない新鮮なタッチに驚き、興奮し、そして胸を熱くしました。新しい才能を発見した彼らが、その素晴らしい日本中に拡散したことで、感動と共感の連鎖が生まれたのです。

斉藤守彦(さいとうもりひこ) / 映画ジャーナリスト・アナリスト。「シネマスby松竹」では、「脳内ボイスレコーダー方式」と言われる独特な原稿形式で寄稿している。

02 | Sports



ブレない思いを実現！大谷選手の可能性。

昨年は投手として10勝、打者として22本塁打を記録した大谷翔平選手(北海道日本ハムファイターズ)が、花巻東高校時代からの思いを、早ければ来年のオフに実現する可能性があります。日本最速の165km/h。打っても驚異のスイングスピード。その能力からすれば、メジャーでも輝きを放つことが期待できます。

注目すべきは“二刀流”の継続。先入観を捨て、常に高い目標を設定して160km/hを記録した高校時代。プロ入り後も、賛否両論の“二刀流”を続けて球界の常識を覆してきました。

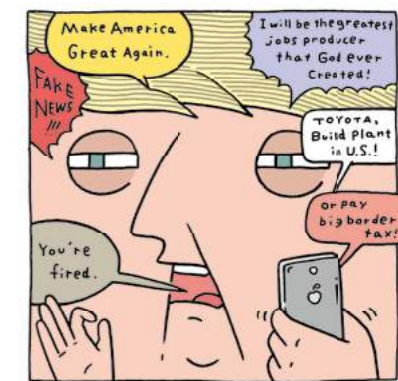
大谷選手はブレません。可能性を追い求め、そこに辿り着くまでのアプローチを心から楽しむ。「周りが『無理じゃないか』と言う目標のほうがちょうどいい」。高校時代のその言葉が示す通り、大谷選手にはメジャーの常識をも覆す可能性が秘められています。

佐々木亨(ささきとる) / 岩手県出身、スポーツライター。雑誌編集者を経て独立。著書に『あきらめない街、石巻 その心に俺たちはなる』(ベースボール・マガジン社)など。

あのニュースのこぼれ話。

illustration: AYAKA KITATANI

01 | International



現実と公約で揺れる!? トランプ米大統領による新政権。

ドナルド・トランプ氏が米大統領に就任しました。選挙戦を通じて“暴言”を繰り返してきたトランプ氏が、どうして当選したのでしょうか？

製造業の衰退で社会から見捨てられた白人層の支持が決め手になったという意見が多いですが、選挙戦の最終段階で共和党が結束した点も大きかったと言えます。民主党は組織力で敗北したのです。

では、この新政権は何をめざのでしょうか？ 問題は、雇用などの不満を抱えた支持者と、大企業優遇政策を掲げる共和党主流という、“異なる2つの支持母体”を抱えている点です。また、いくらか“アメリカ中心”の政治といっても、国際社会が混乱するようでは困ります。

結局は、選挙戦で訴えた極端な公約と、現実的な政策の間で激しく揺れながら進むしかなく、そこにトランプ政権の弱点があると考えられます。

冷泉彰彦(れいぜい あきひこ) / 在米作家、ジャーナリスト。「冷泉彰彦のプリンストン通信」では、「アメリカでの文脈」をテーマに、幅広い情報を発信している。

# 自分、プロデュース計画。

photograph: AYUMI YAMAMOTO (P04-05), MAKOTO KUJIRAOKA (P07-08), TETSUYA ITO (P10-11), SACHIE ABIKO (Students)

人間関係で失敗したり、将来に不安を感じたり、恋愛で落ち込んだり……。悩みの種はつきないものです。その悩みを解決するために、まずはこころ、話し方、ファッション、習慣、聞き方から、自分自身を変えてみるといいかもしれません。今日から自分プロデュース計画、始めてみませんか？

Illustration: JIN KITAMURA text: KENTARO MATSUI, SAN-O PRODUCTIONS (Students)

## まずは、こころのプロデュース。

心理カウンセラーが  
お答えします。

心屋 仁之助さん  
Jinnosuke Kokoroya

心理カウンセラー。全国でセミナーを開催し、スクールも運営。相談者目線のカウンセリングで人気。近著に『傷つけあわない関係をつくるシンプルな習慣』（朝日新書）。

### 【お悩み】

消防官になるため勉強中。けど、どうしても不安に。僕の将来、大丈夫かな……。

吉原和樹さん / 医療技術学部スポーツ医療学科3年

安心してください。  
人は必ず失敗します！

人生は挫折するようにできています。そして、「挫折しても大丈夫」と気づきます。不安に陥ったり、失敗しても、自分は自分です。「だから、大丈夫」と自分を信じられる揺るぎない思いがあれば、あなたは大丈夫です！

### 【お悩み】

年上の人が私のことを、対等な関係で見してくれない。下に見られたくないのですが。

河本里穂さん / 医療技術学部診療放射線学科1年

自分に対する扱いを変えれば、まわりの扱いも変わります。

自分に対する周囲の扱いは、自分が自分にしている扱いと同じ。つまり、あなたは自分で自分を下に見ているのです。「かわいいね」と褒められても、「どうせ嘘」と思い込んだり。周囲からの扱いを変えたいなら、まずは自分の扱いから。

### 【お悩み】

私は女子校出身です。新しい友だちや恋人など、交友関係を広げる方法は？

佐野茜さん / 医療技術学部診療放射線学科1年

思い切って、助けを呼ぼう！  
そして、次は助けてあげよう。

交友関係が広がらないのは、人に「助けて」と言わないから。人を頼ってみてください。レポートの書き方、洋服選び、なんでもいい。助けてもらったら、今度はあなたが助ける番。友情や恋愛は互いに助け合うことで発展します。

### 【お悩み】

趣味に、部活に、勉強に。やりたいことが多くて……。絞ったほうがいいですか？

久保木秀幸さん / 医学部医学科3年

絞るなんてもったいない！  
好きなことに邁進しよう。

人生は運。そして、運をあげる方法の一つ。好きなことをすること！つまり、あなたは開運の可能性に満ちています。自ら可能性を絞り込む必要はありません。将来の仕事も、好きなことを続けた先に  
出合えるかもしれませんよ。

← 次は、見た目や会話、行動をプロデュースしよう！

# TALK ちゃんと伝える。

話し方にある4つのタイプ。自分のタイプを意識しつつ、タイプを使い分ければ、伝える能力がぐんとアップ!



**中尾彬タイプ**  
=低い声×ゆっくり  
落ち着いた印象。友人や恋人から相談を受けたときなどに向いている話し方。

**滝川クリステルタイプ**  
=高い声×ゆっくり  
大らかで、相手に癒しを与える話し方。場が緊張して空気が固いときに、雰囲気や和らげることができる。

**明石家さんまタイプ**  
=高い声×はやい  
明るくエネルギッシュで、押しが強い印象。ゼミの代表や幹事など、みんなを鼓舞する立場にふさわしい話し方。

**福山雅治タイプ**  
=低い声×はやい  
論理的で、仕事ができるイメージを与える。ゼミの発表などで意見を主張するときなどに効果を発揮しよう。

**Adviser**  
**魚住りえさん**  
Rie Uozumi  
フリーアナウンサー。「魚住式スピーチメソッド」を確立し、ボイス・スピーチデザイナーとしても活躍。近著に「たった1日で声まで良くなる話し方の教科書」(東洋経済新報社)。

状況に合わせて声を使い分ける。  
声のトーンや話すスピードは人によって違いがある。自分がどのタイプなのか、上の図で確認してみよう。そのうえで、別のタイプの話し方も練習することをおすすめしたい。場面や状況によって使い分けられることができるようになれば、自分の思いを、その場にふさわしいかたちで伝えることができる。自分の声をコントロールして話すことで、感情の幅も広がり、相手に与える印象も豊かになる。それは、社会に出てからも役立つこと。話し方を意識すると同時に、場の状況を察するコミュニケーション能力も養われるからだ。

# VOICE 私はこちら伝える。



「はつきりとわかりやすく!」

ゴニョゴニョと話すや伝わりませんので、ハキハキと話すように心がけています。(竹内純美さん/医療技術学部スポーツ医療学科4年)



「同じ目線で話す。」

相手が座っていたら、立っていても座って話す。視線を同じにすれば、与える印象が変わると思う。(嵯山光さん/医療技術学部診療放射線学科1年)



「目を見て話すのが基本。」

人によってわかりやすい言葉が違うと思うので、言葉を選びながら、相手の表情を見ながら話します。(月川彩花さん/医療技術学部看護学科4年)

# FASHION 色を味方に。

TPOやおしゃれも大切だけど、友情や恋愛関係を順風満帆にしたいなら、ファッションカラーに気をつけよう!

- RED** → **ここ一番! アピールしたいときに**  
エネルギッシュで主張の強い赤は、食事会の幹事やゼミの代表として人前に立つときに。
- PINK** → **もめごとの仲裁や交渉のときに**  
やさしい、人を包み込む色。威圧的に映らないため、困難な状況を打破するときにおすすめ。
- ORANGE** → **初対面の人と仲よくなりたいときに**  
社交性がアップするフレンドリーカラー。人に好印象を与え、話しかけられやすくなる。
- YELLOW** → **ひらめきたい! 話し合いのときに**  
ミーティングや会議で斬新なアイデアを出したいときに身につけるといいユーモアカラー。
- BLUE** → **正確なジャッジをしたいときに**  
冷静沈着に物事を判断する場面で。集中力を高める効果があるため、試験時にもおすすめ。
- GREEN** → **とりあえず、平和的でいたいときに**  
癒しのノンストレスカラー。中立でいたいとき、ちょっと苦手かも……という状況に。

**Adviser**  
**七江亜紀さん**  
Aki Nanae  
色のひと◎/カラーキュレーター◎。衣食住にまつわるカラーコンサルティング、ブランディングを行っている。近著に「色は無言であなたの心を動かしている。」(大和書房)。

# VOICE 私の服へのこだわり。

「TPOに合わせて色を。」



きれいな着こなしが好きです。面接のときはさわやかさを出したくて、ネクタイを青系にしました。(清水智之さん/薬学部薬学科6年)

「差し色でアクセントを。」



女子すぎる服よりも、ナチュラル志向。上着がゆるいのでソックスは黒、靴を紺にして締めました。(松嶋仁美さん/医療技術学部看護学科4年)

「好きな色で気分をあげて。」



母が服を選んでくれています。私の好みもよくわかっているんです。好きな色は気分があがる赤です。(島田陽香さん/薬学部薬学科2年)

「色の变化でメリハリを。」



暗い色の服はあまり着ませんが、レストランなどフォーマルな場所では、シックな色合いにします。(杉山竜哉さん/薬学部薬学科3年)

## VOICE

私はこう打ち解ける。

「最初にあいさつをしっかりと。」



自分からしっかりとあいさつすれば、相手も返してくれるので、話に入りやすいです。(市川千尋さん/医療技術学部スポーツ医療学科4年)

「身振り手振りを。」



笑顔で相手の目を見て聞くことが基本。相づちを打つ、身振りを加えることも意識しています。(太田ゆみさん/医療技術学部看護学科4年)

「相手が喜ぶことを。」



自分が人から言われてうれしいことを相手にも伝えれば、心を開いてくれると思います。(福留大紀さん/医療技術学部診療放射線学科3年)

「笑顔で明るく！」



私は第一印象が「怖い」と言われます(笑)。なので、なるべく笑顔で明るく話そうように心がけています。(小村佳奈さん/医療技術学部看護学科4年)

自分、プロデュース計画。その4

## HEAR 相手の心を開く。

聞き方を工夫すれば、初対面でも会話は弾みます。

相手の心を開き、本音を引き出す会話術を習得しよう！

adviser: RIE UOZUMI



### リズムをつける

聞くときに「はい、はい」と相づちばかり繰り返すと、「話を理解していないのでは？」と不信感を抱かれる。黙ってうなずき、心を動かされたときに「私も同じ経験をしました。あなたはどうか対処されましたか？」などと共感を伝えれば、会話にリズムが生まれ話も弾む。



### ぼんやり見る

相手の目を見て話を聞くのは基本。携帯電話の画面を見たり、髪の毛をいじるなど手遊びをしながら聞くのはNG。ただ、目を見過ぎるのも攻撃的に感じられ、互いに疲れてしまう。目を見つつも、おでこや眉間、鼻先など目の周囲をぼんやりと見るように心がける。



### 程よい距離感

初めてのデートでは、対面のテーブルで緊張しながら話すより、カウンター席のほうが親密になれる場合も。同様に、初対面の人と会話をするときには、テーブルのコーナーを挟むコの字やL字、横並びに座ったほうが適度な距離感が保てて、お互いに話しやすくなる。

自分、プロデュース計画。その3

## HABIT 「好き」から始める。

いまから身につけておきたい5つの習慣をご紹介します。

習慣ができれば、自分に自信が持てます。

Adviser

古川武士さん Takeshi Furukawa  
習慣化コンサルティング株式会社  
代表取締役。独自の習慣化理論と技術をもとに習慣化講座などを実施。近著に「[[やりたいこと]]が見つかる3つの習慣」(大和書房)。

### 感性で行動する

「すべきこと」ではなく、幼少期みたいに「好きだから」という感性で行動する。自分が好きなこと、夢中で取り組めることを習慣化していく。

### ブックサーフィンする

読書の習慣を。読書習慣が身につけば、本から本へ、ネットサーフィンならぬ「ブックサーフィン」で広い知識も得られる。偉人伝や体験記がおすすめ。

### メンタルを鍛える

社会には理不尽なこともある。それに耐えられるメンタルを養っておく習慣を。スポーツや武道など、好きな分野での「厳しい環境」に身を置く経験も大切。

### 異分野の人と会う

異なる分野の人たちの多様な生き方に触れることは、人生の糧に。感銘を受けた本の著者に手紙を書き、会いに行くこともおすすめ。連絡がくる確率は高い。

### 新体験で自分発見

普段行かない場所、普段しないことにトライする。旅、料理、ボランティア……なんでもいい。世の中を見る視野が広がり、新たな自分を発見できるかも！



「寝る前に1日を振り返る。」

布団に入ったときに、1日を振り返って、今後プラスにしておくためにどうするかを考えています。(中田梨絵さん/医療技術学部看護学科4年)



「通学時間も有意義に。」

通学に往復で3時間弱もかかります。予習して過ごすなど、時間を有効に活用しています。(箕輪網平さん/医療技術学部診療放射線学科3年)



「筋トレで基礎体力をつける。」

卒業後には念願の消防官になります。基礎体力は欠かせないので普段から鍛えています。(徳吉菜奈美さん/医療技術学部スポーツ医療学科4年)



「毎朝、新聞を読破！」

社会人になったら、それなりの責任を負わなくては！なので、教養や社会の動向は頭に入れてないと。(栗屋瑛司さん/薬学部薬学科6年)

VOICE  
私の習慣。

中川知香さん  
Chika Nakagawa

帝京大学外国語学部外国語学科2016年卒業。オスカプロモーション所属。ミス・ワールド2015で日本代表に選出。2016トリンプ・イメージガール。テレビ朝日系木曜ドラマ『就活家族〜きっと、うまくいく〜』で女優デビュー。



## A

友だちに自分の夢を話すことが自分プロデュースの第一歩かもしれません。



## Q

卒業生に聞きました。

自分プロデュースって、どうやるの？

在学中、ミス・ワールド日本代表に選ばれた中川知香さんにファッションモデル、女優として活躍する中川さんに自分なりのプロデュース方法について教えてもらいました。



## TURNING POINT

私のターニングポイント。



### バスケットを始める

幼少の頃は人見知りだった中川さん。小学生からバスケットボールを始めると、交流が好きな活発な女の子に変身。



### ミス・ワールドに出場

中川さんらしく、自然体で向かったら見事に受賞。「自分らしく」という姿勢も自分プロデュースには大切。



### 女優デビュー

女優の魅力は、自分ではない人物を演じられること。「自分プロデュースを仕事として考えています」

かを真似てみると演技のコツをつかめることがあります。理想とする人を真似ることも自分プロデュースの方法の一つかもしれません」

他人を演じる女優だけあって、中川さんは自分のプロデュースや自己アピールが得意かと思いきや「学生時代は苦手でした。オーディションの面接も何度も落ちました……」と。「でも、自分の夢を人に話すようになってから、自己アピールができるようになっていきました。友人に、「女優になりたい」と言ったら、その後「こんな女優になりたい」「こういう役も演じたい」と次々と話せるようになって。話すうちに自然と自己アピールができるようになったと思います」

誰かに夢を話せば、モチベーションもあがる。自分を高めようと、努力を惜しまなくなる。その努力こそが、自分プロデュースを成功させる最大の秘訣なのかもしれない。

さまざまな役を演じ分ける能力が求められる女優の仕事。日々、演技のレッスンは欠かせない。「レッスン以外にも映画を観て勉強したり、日常生活でも人の話し方や表情を観察したりしています」と中川さん。自分をプロデュースするときも、自分の中ばかりにベクトルを向けるのではなく、自分の外にも向けたほうがいいと言う。「難しい演技も、誰

理想とする人を真似てみて！

在学中に抱いた「女優になりたい」という夢を叶え、2017年1月に始まったドラマ『就活家族〜きっと、うまくいく〜』に出演している中川知香さん。女優になるきっかけは大学2年生の頃。「友人の知り合いが携わっていたファッション系のスナップサイトにモデルとして出演したことを機に、ファッションショーに誘われるようになり、ミス・ワールドにも推薦されました」と学生時代を思い出す中川さん。「当時の自分はずいぶんミス・ワールドは無理だと思ったのですが、友人にすすめられて応募すると、審査員特別賞をいただけて。うれしかったです」。

芸能事務所と契約した翌15年には、ミス・ワールド日本代表に選ばれるという快挙を成し遂げ、夢だった女優デビューも果たした。

卒業生ものがたり。

今回の主人公

中川知香さん(女優・モデル)



卒業生の人生を作家・高橋源一郎さんが紡いで、架空の「ものがたり」に。今回は中川知香さん(p10-11)が新しい世界へ飛び出していくまでのストーリー。

illustration: JIN KITAMURA

「頑張ってる、チカ」 高橋源一郎

「チカちゃん、チカちゃん」

遠くから、誰かが呼んでいる。誰だろう。

「チカちゃん、チカちゃん、つてば！」

誰かが「チカちゃん」を呼んでいる。はやく返事をしなさいよ、チカちゃん。そう思った。

そして、その瞬間、チカは、呼ばれているのが自分であることに気づいた。

「どうしたの？」

友だちが心配そうに、覗きこんでいる。

「大丈夫だよ。なんでも無いの」チカは、小さな声でこういった。大丈夫だから、ごめんね。

いつの頃からだったろうか。心ここにあらずといった様子で、ぼんやりすることがあるようになったのは。

チカは、おとなしい、しゃべらない女の子だった。それが、ふつうだと思っていた。それで困ったりもしなかった。チカは、暖かい、日向のような世界で、まどろむような少女時代を過ごした。

小学生の頃、バスケットボールを始めた。バスケットボールはとても楽しかった。走る。ボールを持つて。跳ぶ。ボールを高く、遠く、投げる。弧を描いてボールが飛んでゆく。ゴールネットが揺れる。そして、ボールが落ちる。そこには、自分がいない感じがした。自分が

ことのない、おとなしい女の子のままの、もうひとりのチカちゃんだ。

「チカ、良かったよ」

我に返ると。スタッフが、心配で付いて来てくれた友だちが、その声をかけてくれた。

「なんだか、あそこにいるチカは、いつものチカじゃないみたいだった」

そうだよ。わたしもそう思うよ。なぜだかわからないけれどね。

それから。それからのことは、ときどき、ぜんぶ、夢なんじゃないか、つて思う。

「ミス・ワールドに出てみない？」つていわれたときも、「無理無理！」つて答えた。でも、「どうせならやってみなよ」つていわれて、わたしは出た。そしたら、特別賞をいただいた。プロダクションに声をかけてもらい、仕事の場所は、どんどん拡がっていった。

途中で、ぜんぜんオーディションに受からないときもあった。頑張らなきゃ、認められなきゃ。そう思って、全身に力がいっていた。そんなとき、また、誰かが耳もとで囁いた。「いまのあなたのままでいいのよ、チカ。みんな、応援してるからね」

そうだ。わたしは、わたしのままでいいんだ。そう思ったとき、余分な力が抜けた。そして、わたしは、また一歩、前を進んだ。

やがて、チカは、ドラマに出るようになった。誰か他の人間になる。最初はたいへんだった。セリフを覚えなきゃ。そんなことばかりが気になつていった。でも、大切なのは、それではない。自分以外の誰かになること。実は、そのことに、チカは、ずっと前から気づいていたのかもしれない。

風になった気がした。あるとき、バスをしてくればよかったレイちゃんの手がぶつかった。ごめんね。それから、すぐにまた。あれ？ 気がつくとも、レイちゃんがちっちゃい。レイちゃんの下から、わたしを見ていた。なんだか、縮んでみたい。違う。わたしが大きくなってたんだ。急に。

あの瞬間、わたしは変わった。わたしは、おとなしいチカちゃんを追い越した。そんな気がした。走りながら、すぐそばにいる、もうひとりのわたしを追い抜いていた。

高校の頃、目標がある友だちが羨ましかった。やはり、チカは「おとなしい、しゃべらない女の子」のままだったのかもしれない。だから、先生に「やりたいことがないのだったら、大学に行きなさい。行って、いろんな経験をしてみなさい」といわれたとき、そうしようと思った。

いまの自分ではない誰かになりたかった。東京に入って、モデルの仕事をするようになった。初めは、偶然だった。そして、ほんの小さな、雑誌のスナップの撮影だった。でも、なにかが少しずつ変わりはじめた。

なんだか、わたしじゃなくなると。そんな感じだった。ファッションショーと呼ばれて、ふだん着ないような素敵な服を着る。メイクをする。「さあ、行って！」

声がかかる。舞台の上に進み出る。ライトが当たる。音楽が沸き上がる。みんなの視線が集まるのがわかる。

それは、わたしじゃない。そこで、微笑みを浮かべているチカちゃんを見つめている、もうひとりのわたしがいる。それは、舞台上に上がれない。

誰にもいわないでいたことがある。わたしが生きていくこの世界の「外」に、そっくりな別の世界がある。そんな気がする。そこには、わたしにそっくりの、でも別の「チカちゃん」がいる。ずっと、おとなしいままのチカちゃん。背が伸びなかつたチカちゃん。大学に入らなかつたチカちゃん。モデルを頼まれたとき、とても無理だといって断つたチカちゃん。ふつうの大学生としてふつうに就活をしているチカちゃん。ふつうのOLになったチカちゃん。みんな、そうだったかもしれない、もうひとりのわたしだ。そして、わたしは、そんな、たくさんのチカちゃんの気持ちがわかるような気がする。人生には、たくさんの分岐点があつて、みんな、そこから違つた運命を歩みはじめ。遠くへ行つてしまった、たくさんの、もうひとりのチカちゃん、もうひとりのわたし。みんな、わたしにとって、大切に愛おしい。演技をしているとき、そんな、他の「チカちゃん」たちのことを考える。そうでなかつたのかもしれない「わたし」のことを。

わたしの中には、まだわたしの知らない「わたし」がたくさんいるかもしれない。

「出番です」

ADさんが呼びに来た。「はい」と答えた。「頑張つて、チカ」

声が聞こえた。そうだ。あれは、それぞれの場所で生きて、何かに憧れている、「チカちゃん」たちの声なんだ。頑張るよ、みんな。

「さあ、行こう」

小さく自分に声をかけて、チカは外へ出た。

みんなの人生も一つの「ものがたり」です



書いた人はこんな人！

たかはし・げんいちろう／小説家、文学者。1951年、広島県生まれ。81年『さようなら、ギャングたち』で群像新人賞優秀作を受賞しデビュー。『優雅で感傷的な日本野球』で三島由紀夫賞受賞など。著書他多数。昨年11月には『丘の上のバカ ぼくらの民主主義なんだから』(朝日新書)など3冊を刊行した。



バスケットボール部  
BASKETBALL CLUB  
 板橋キャンパスのバスケットボール部の設立は1970年。部員数は、男女合わせて約60名。監督やコーチはいないので、部員同士で話し合いながら練習メニューを考え、実践している。

### バスケットボール部

●板橋キャンパス

医学部、医療技術学部、薬学部のバスケ部が一つになって活動。学部ごとにあるレベルの差を越え、支え合いながら練習に励む。大切なのはチームプレーだ。仲間を鼓舞する声が体育館に響く。

男女約60名の部員が所属しているバスケットボール部。「医学部、医療技術学部の合同バスケ部と、薬学部のバスケ部の二つの部が一つになって活動しています」と、医学部医学科3年で主将の羽尾貴明さんが部の構成を説明。「学部ごとに技術のレベルが異なり、別の大会に出場するので、練習方法にも工夫が必要です」

薬学部や医療技術学部は、中学高校でバスケットボールを経験し、県選抜に名を連ねた部員もいるほどレベルが高い。薬学部は東日本大会で準優勝したが、医学部には初心者も多く、レベルの差は「まだまだあります」とのこと。練習メニューも、「薬学

部はいま、大会を目前に控えているので最後の仕上げに入りたい時期。医学部は夏の大会に向けてチーム力の底上げを図りたいところ。難しいです」と羽尾さん。基本的には大会を間近に控えた薬学部の練習が優先。逆に医学部の大会前には僕たちが中心になって練習するというように、互いに協力し合っています」

「それは女子も同じです」と、女子バスケットボール部主将の医学部医学科3年の長谷部衣紅さんは言う。「レベルの高い薬学部や医療技術学部の部員からアドバイスをもらい、医学部の大会に生かしています」

学部を越えて技術を高めた結果、医学部は前回の東日本医科大学選手権大会で男女ともに1回戦を突破した。「みんなで喜び合いました。医学部は何年ぶりの勝利かわからないけど男女ともに負け続けていましたから」と2人は話す。「バスケットボールは、ベンチを含めてチーム全員で1個のボールをつなぎ、点を取り合うスポーツ。常に味方の動きを把握することが重要ですから、普段から相手の気持ちを考える。習慣が身につきます。それは社会を生きる心構えとしても大切なもの」と羽尾さん。長谷部さんも、「将来、医療の世界でも求められるのはチームプレー。バスケ部で育んだ絆の強さを発揮したいと思います」と語る。

「絶対に勝つ」という意識を部員全員で共有できているチームは強い」と言う羽尾さん。勝利の喜びを糧に、今後の人生でも仲間とともに大きな勝利をつかんでほしい。





ラグビー観戦ダイジェスト

東海大学のパワープレーに押され、0-14という劣勢の前半34分、マクカラン選手がトライ！39分には矢富洋則選手もトライを決め、前半は14-14の同点で折り返した。



前半

後半15分には再び矢富選手がトライ、同点に。23分には吉田杏選手がトライ。26-19とリードを奪うと帝京大学の強さがよみがえり、33-26で勝利！8連覇を成し遂げた。



後半

TEIKYO WIN!  
33対26  
勝利!



観戦時は、防寒具も用意しておきましょう



8連覇の瞬間を学生応援団も



固唾を呑む展開に、熱い視線をグラウンドへ向ける学生たち。

学生たちは「勝った!」とハイタッチを交わし、ウニングランでやって来た選手たちに「おめでとう」と声をかけた。

「常に追いかける厳しい展開」と言うように、苦戦を強いられた本学。でも、苦しいときこそ力になるのが応援だ。必死でボールに食らいつく選手たちに、「帝京! 帝京!」と席を立てて叫び続ける学生たちの声援が届いたのだらう。ついに逆転し、ノーサイド。



ブースでは、小旗や赤い応援Tシャツなどがもらえるかも?



一緒に分かち合いました!

試合開始1時間前。「第53回全国大学ラグビーフットボール選手権大会」の決勝戦が行われる東京・秩父宮ラグビー場は熱気で包まれていた。スタジアム前の入り口では、ラグビー部員たちが観戦に訪れた学生やファンたちを歓迎。広場に設置された応援ブースでは、赤い応援Tシャツや小旗などの応援グッズが配布されていた。チケットを手に入場口からスタジアムに入り、出場選手リストをゲット。臨場感あふれる最前列の席に着き、期待を膨らませながら試合開始を待った。

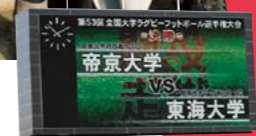
決勝の相手は東海大学。前半、連続トライを奪われ、応援席に重い空



部員たちのほりを持って歓迎

第27回  
LET'S GO RUGBY GAME!!  
みんなで  
ラグビー観戦へ行こう!

ラグビーの試合を観たことありますか? 「ある!」「ないです……」  
「テレビでなら」そんな学生たちが、ラグビー部の試合を観戦。  
応援することで自分のなかにも何かが芽生えました!



観戦したのは全国大学ラグビーフットボール選手権大会決勝。帝京大学ラグビー部は2009年度大会から連覇中。

FLAIR WORKSHOP.  
ワクワク企画が満載です。  
photograph: KENTARO OSHIO text: KENTARO MATSUI

**AFTER TALK**  
ラグビー部を  
応援してどうでしたか？

藤原悠さん(経済学部経営学科3年)  
普段の大学生活で「帝京!」と叫んで大学を応援することはありません。今日はそれができ、「僕も帝京大学の学生なんだ」ということを強く意識しました。

田村瑚子さん(経済学部経営学科3年)  
ラグビー部は帝京大学を代表して8連覇を成し遂げようと頑張っていたので、同じ帝京大学生として応援したくなりますね。8連覇は私の誇りにもしたいです。

田代赤次さん(経済学部経営学科3年)  
帝京大学がミスをしたら悔しいし、トライを決めればうれしい。応援することで、プレーする側と観る側に一体感が生まれ、選手と同じような気持ちになりました。

市川果歩さん(経済学部経営学科3年)  
応援の場にいることで一緒に戦う気持ちや感動を共有でき、「私も頑張ろう!」という力になりました。惜しくも負けた東海大学にもメールを送りたいです。

石田悠馬さん(経済学部経営学科3年)  
「選手が踏ん張っているから自分も踏ん張ろう」と、応援することで生活や学業の励みになります。9連覇がかかる来年も、絶対に応援に来ます!

三井田興大さん(経済学部経営学科3年)  
途中出場した元田翔太選手は友だちです。グラウンドに登場したとき、今日いっしょの声をあげて応援しました。自分のことのようにうれしかったです。

酒井紀美香さん(経済学部経営学科3年)  
応援したことで相手が「頑張ろう」という気持ちになってくれれば、うれしくなります。応援は、する側・される側の両方にいい影響があると思います。



**学生たちが直撃インタビュー!**

8連覇のこと、ラグビーの魅力、  
学生たちが聞きたい質問を、  
監督や選手にインタビューしました!



**MASAYUKI IWADE**  
岩出雅之(医療技術学部教授(帝京大学ラグビー部監督))  
『ラグビー部の試合が母校愛を育む場に』  
赤く染まった帝京大学の応援席から学生の声援が届き、励みになりました。我々ラグビー部にも力になるし、応援する学生も「母校愛」を育むチャンス。ラグビー部の試合がそういう場にもなればうれしいです。



**RYOI KAMEI**  
亀井亮依さん(医療技術学部スポーツ医療学科4年)  
『ラグビー部の持ち味はハートです』  
ベンチ入りメンバーは23人。でも、部員は137人。出られなくてもチームの勝利のために何ができるのか、常に自分の役割を考えて取り組めるのは、いいハートを持っているから。それが、持ち味です。



**RIKIYA MATSUDA**  
松田力也さん(教育学部教育文化学科4年)  
『観客席の応援は大きな力になります』  
応援ですか? もちろん、試合中も聞こえていますし、大きな力になっています。ただ、ゴールキックを蹴るときは聞こえません。自分のテンポとフォームで蹴ることに集中していますから。



**KOKI TAKEYAMA**  
竹山晃暉さん(医療技術学部スポーツ医療学科2年)  
『ラグビーは気持ちを共感できるスポーツ』  
ラグビーは、プレーしている側も応援する側も、「惜しい」「やった!」という気持ちを共感できるスポーツ。僕は10連覇を目標に入部したので、帝京大学の学生同士、その喜びを共感できるよう頑張ります!



**BRODI MCGURRAN**  
プロディ マクカランさん(医療技術学部スポーツ医療学科2年)  
『日本代表に選ばれるのが僕の目標です』  
ラグビーの魅力は、チームワーク。全員が一つになったから優勝できました。今日は最高の気分です。僕の目標は日本代表に選ばれること。好きな食べ物ですか? カニの寿司です。Thank you!



**AFTER GAME**  
学生が  
優勝祝賀会に潜入!  
8連覇を達成した帝京大学ラグビー部。  
試合の熱気そのままに、  
祝賀会が開催され、学生たちも  
勝利の喜びを選手たちと共有しました!



勝利した夜、都内のホテルで優勝祝賀会が催された。観戦した7名の学生たちも、関係者以外は入れない特別な場に参加し、入場してきたラグビー部の部員たちを拍手で迎えた。  
沖永佳史学長が祝辞を述べ、岩出雅之監督が「レギュラーもリザーブも、スタンドで応援していた部員も、みんな MVP です」と選手を称え、学生たちも自分のことのように感動していた。  
歓談の時間、学生たちは監督や選手にインタビューを敢行。緊張しながら岩出監督に声をかけ、「チームづくりで心がけたことは?」「選手としてはもちろん、人として成長し、社会で活躍できる力がつくよう心がけました」という言葉ももらった。主将の亀井亮依選手には、「8連覇を成し遂げる強いメンタルはどこから?」と質問。「普段の練習の積み重ねと、このチームで優勝したいという強い覚悟からです」との答えが返ってきた。その後、何人かの選手にインタビューを行った学生たちは、「監督や選手のラグビーに対する姿勢を自身の学生生活にも取り入れたいです」と、貴重な体験に思いを新たにしていた。

優勝祝賀会でお祝いしました!



〈右〉部員全員で校歌斉唱。〈中〉9連覇へ向けてエールを送る沖永学長。〈左〉祝賀会恒例の選手紹介。岩出監督は、選手一人ひとりに声をかけながら冗談を交えて紹介。



〱 帝京ギヤグは  
芸人として  
一生やり続けます(礼二)

選手のみなさんの  
元気なあいさつには  
感動しました(剛)

中川家/兄の剛(ボケ)、弟の礼二(ツッコミ)の兄弟で'92年にコンビを結成し2001年にはM-1グランプリにて初代王者に輝く。ともに中高6年間でラグビーを経験し、剛は守口東高校出身で、ポジションはスクラムハーフ、礼二は向陽台高校出身でポジションはフッカー。



もっとゆっくり投げてー!



なんか俺が優勝した気分!?



ピーッ! ノックオン! 帝京ボール!

INTERVIEW  
ラグビーの魅力って何?

ラグビー芸人(!?)の中川家のお二人に選手&ファン、両者の立場からその魅力を存分に語ってもらった。これを読めば確実にあなたは、ラグビーの虜になること請け合いです。

GUEST  
中川家  
IN  
帝京ラグビー部

**RECOMMEND POINT**  
中川家がおすすめる「ラグビーを楽しむ4つのポイント」

- 1 流れが変わるのを見逃すな**  
大差のついた試合でも、反則やケガなどちょっとしたことがきっかけとなり、流れが変わって大逆転劇が起きるのもラグビーならではの。1トライで5点、キックが入れば2点などパターンによって獲得点が変わるのもおもしろいですね(剛)。
- 2 小さな選手が大きな選手に立ち向かう**  
小さな人が大男をタックルで倒すの見どころです。ほかのスポーツではありえない(笑)。ちなみに僕は中学時代、小さいながらも奮闘する先輩の姿を目の当たりにして、それがあまりにも格好よくて入部を決めました(剛)。
- 3 ボール裏からの観戦が穴場**  
試合自体をボールの真横からではなく後ろから見るとおもしろいですよ。ボール回しの様子やサインを出す瞬間とかがよく見えます。しかもこの辺りは比較的空いてるからチャンス! 特に「ラグビー通」の方にはおすすめです(礼二)。
- 4 観戦は試合前のウォーミングアップから**  
できれば試合会場に早めに入って、試合前の練習から見てほしいですね。選手をより間近で見られますし、彼らがどれだけ緊張した状態で試合に挑むかっていうのをわかって観戦すると、より一層試合に引き込まれると思います(礼二)。



**学** 生時代はラグビーに明け暮れていたというお二人が思う、ラグビーの魅力とは?  
まず兄の剛さんは、作戦の駆け引きにあるという。「複雑なルールがかいぐって、相手の裏をかきながら点を取り合うところが、醍醐味の1つだと思います」  
一方、弟の礼二さんが思うラグビーの魅力は「練習はほんまに地獄ですが、試合はめちゃくちゃ楽しいんです。うまくなりたいていう気持ちもありますが、極端な話、試合を楽しむためにハードな練習をしていたっていう感じです。高校のラグビー部なんて、夏休みはお盆くらいしか休みをもらえなかったんですけど、その貴重な時間も河川敷にみんな集って試合をしてましたから(笑)」  
さらにラグビーの魅力として、二人が口をそろえてあげるのが、相手へのタックル。普通に考えれば、恐怖。でしかないと思うのだが……。



もちろんそりゃ怖いですよ、と笑顔をまじえながら礼二さんは語る。「試合が始まったときの選手は異常な興奮状態にあるので、怖いという気持ちよりもむしろ「(相手を)止めてやる!」という気持ちが上回るといいます。試合前に涙を流している選手とかいるんですけど、あれはそれまでのキツイ練習を思い出したり、(これから試合で)自分よりも大きな相手にぶち当たっていかなきやいけなという恐怖心とか、いろいろな気持ちが複雑に絡み合っているからなんです」  
そうそうと頷きながら剛さんも続く。「だから試合前に選手と監督が集まっているシーンが映ると、見入ってしまいますね。自分の経験と重なる部分があるせいか、あれを見ると感動してしまいがちな気がします。そういう個々の選手の内面が瞬間的に垣間見えるのも、ラグビーのおもしろさなのだと思います」



**MESSAGE**  
中川家からメッセージ  
キリのいいところで、10連覇を達成してほしいです。あと強いだけでなく全体で人としての成長を重んじたり、地域の子どものラグビー指導を行うなどグラウンド以外での姿勢も素晴らしいので、ぜひとも続けてほしいです。



## Editor's Note

「自分、プロデュース計画」。テーマだけを見ると大仰に感じますが、今回は気軽にできるセルフプロデュースの方法を特集で紹介しています。コミュニケーションを円滑にする話し方や聞き方、人に好印象を与える服の色、人間力を高めるための習慣など、すぐにでも始められることを中心に取り上げました。自分をどう見せるか？それは、ケースバイケースです。リーダーとしてみんなを活気づける場面もあれば、冷静な判断が求められる場面もあります。状況に応じた自分を演出するために、今回の特集内容を参考してみてください。心、服、会話、習慣、それぞれを少し変えるだけで、苦手なことを克服するきっかけになるかもしれません。自分をアップデートするためにも、自分プロデュース計画、始めてみませんか？

## Flair

vol.105  
March 2017 Spring  
THE TEIKYO SELF

制作 Mo-Green  
発行 TEIKYO UNIVERSITY

cover photograph  
TETSUYA ITO  
cover illustration  
JUNJI NAKAMURA

## Report

### 熊本地震被災地支援の義援金を贈呈しました

11月29日、帝京大学福岡キャンパス学生会は、大牟田市役所で義援金贈呈式を行いました。今回の義援金は、福岡キャンパスで開催された「第30回帝京祭」において、学生会が来場者や出店者に協力を呼びかけて募りました。熊本地震でいまだ困難な状況に置かれている被災地の皆様に少しでもお役に立てればと、義援金贈呈式では、学生代表2名が中尾昌弘市長に直接義援金を手渡しました。

## Award

### 「第13回学生&企業研究発表会」ポスター発表の部で金賞を受賞

大学コンソーシアムとちぎ主催「第13回学生&企業研究発表会」で、帝京大学宇都宮キャンパスの学生がポスター発表の部で金賞を受賞。受賞した学生は、理工学部ヒューマン情報システム学科(現:情報電子工学科)の横松秀康さん(3年)、井元智晶さん(4年)、次六和輝さん(4年)。「メガソーラー巡回ロボットのための環境認識モジュールの開発」について発表しました。

## News

### 「全国大学選手権」でラグビー部が8連覇を達成

1月9日、帝京大学ラグビー部(八王子キャンパス)が、「第53回全国大学ラグビーフットボール選手権大会」の決勝戦で勝利し、史上初の8連覇を達成しました。2年連続の同カードとなった東海大学との決勝戦は、80分間の激闘。前半は、両チーム2トライ2ゴールの14対14で折り返し、後半は、本学ラグビー部が粘り強いプレーで3トライ2ゴールを加え、33対26で勝利しました。

## Award

### 帝京大学アジア国際感染症制御研究所(ADC)の鈴木所長と河内副所長が「Medal For People's Health」を受賞



11月3日、帝京大学アジア国際感染症制御研究所の所長・鈴木和男教授および副所長・河内正治教授が、ベトナムの医療発展に貢献した専門家に授与される「Medal For People's Health」を受賞しました。鈴木所長は、ベトナム国立小児病院病理部に保管されていた、インフルエンザの重症化の病態解明を進めるとともに、インフルエンザの重症化にかかわるサイトカイン、ケモカインの微量免疫学的測定法を同院の検査室に導入。免疫学、生化学および分子生物学的検査の高度技術化を推進しました。11年間にわたり同院と基礎と臨床の両面の共同研究を進めてきたことが評価され、今回の受賞に至りました。

## Report

### 帝京大学スポーツ医科学センター新築起工式を挙げる



12月17日、帝京大学八王子キャンパスで帝京大学スポーツ医科学センター新築起工式を行いました。同センターはメディカル、フィジカル、サイエンスの融合によりスポーツ傷害の予防と治療の発展、パフォーマンスの向上およびスポーツを支える人材育成などを目的に2008年に設立。新しいセンターは地上5階建てで9,000㎡以上の床面積を有し、研究室のほかにメディカルチェックルーム、各種リハビリ施設、測定エリアや物理療法室を備えたトレーニング施設、アリーナおよび食堂などを配置する計画となっています。

福岡キャンパス学務課

田中結花さん

Yuka Tanaka

福岡県柳川市出身。大学卒業後、教育関連の仕事をめざし、予備校で勤務。福岡キャンパス学務課へ転職し、新キャンパスの立ち上げに尽力した。「福岡キャンパスの設備は充実していて素晴らしいです！」

TEIKYO PEOPLE.

NO.02

あの一とに聞きました。

photograph: MINA SOMA text: SAN-O PRODUCTIONS

## 職員さんのキャンパスライフを教えてください？



幅広い業務で学生をサポート。  
福岡キャンパスの学務課で働く田中結花さん。福岡医療技術学部(現:健康福祉学部)の学生には顔なじみの方も多いため、学務課の職員はデスクワークをしているというイメージだが……。「いえ、仕事は多岐にわたります。私は授業時間割表の編成、履習管理、成績処理など教務の業務全般を担当しています。また、診療放射線学科の担当として、臨床実習の手続きなども行っています。なるほど、授業が円滑に進むように陰日向になつて支えてくれているのだ。ミスが許されない仕事なので神経を使うというが、「新しい学科なので先生たちとゼロから作りあげていかなければなりません。やり遂げたときはすごく達成感があります」福岡キャンパスが移転してまだ3年目。職員の平均年齢も他のキャンパスと比べて若いため、学生との距離も近いという。「職員みんなやさしいですよ。何でも相談してくださいね」学務課の職員は、縁の下の力持ちとなつて、さまざまな業務で学生をサポートしてくれている。



「書類などをたくさん扱うので、手が乾燥してしまうんです」。成績通知書の発送など全学生に書類を送ると、その数は1000通以上。数日間かけて用意することも。



授業の準備など時間との勝負なので、勤務中は常に、時間をチェック。出勤は朝8時すぎ、退勤は夜6時から8時。「ずっと、この腕時計とらめっこしている日もあります」



休憩時間や昼食後は、お気に入りのコーヒーを淹れてほっとひと息。愛用のマグカップは「コリラックマ」の絵柄。「見ているだけですごく癒されるんです(笑)」

大切にしているモノは？



自分らしさって、なんだろう？

